

対象患者：非小細胞肺癌

レジメン名：RAM+ゲフィチニブ

1コースの日数：14日

催吐性リスク：最小度

血管外漏出リスク

ラムシルマブ：非壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day				
						1	～	8	～	14
1	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	メインルート	30分	○				
2	ラムシルマブ 生理食塩液	10mg/kg 250mL	点滴静注	メインルート	1時間(1回目) 30分(2回目以降)	○				
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	1時間(1回目、2回目) 5分(3回目以降)	○				

点滴順序：Rp1→2→3

投与時間：2時間30分(1回目)、2時間(2回目)、1時間(3回目以降)

備考：

ラムシルマブ使用のため、フィルター付き専用ルートを使用する。

1,2コース目までは1時間の経過観察のため、生理食塩液でルートキープする。Infusion reactionの発現なければ3コース目以降は省略可とする。

上記と合わせてゲフィチニブ250mg/day 分1を連日内服する。